

9月の展示 8月25日(火)～9月27日(日)まで

1階 ロビー 一般展示

「芸術」の世界へ

芸術の秋に合う、芸術の本をあつめました。

2階 一般展示

「認知症」について知ろう

9月は認知症月間、認知症に関する本を集めました。

1階 ロビー CD展示

おはなしCD

落語や朗読などのCDを集めました。色々なお話に耳を傾けてみませんか？

2階 地域資料展示

東京と「水」

海・川・水道など東京にかかわりのある「水」に関する資料を展示します。

1階 ティーンズコーナー

コンパス～君に届けるこの1冊～

中高生におすすめの本を集めた「コンパス」に掲載された本の特集です。

2階 こどもコーナー展示

いただきまーす

もうすぐあき。ごはんがおいしくせつ。おいしいものがでてる本をあつめました。

2階 こどもコーナー特集

おばあちゃん おじいちゃん 9/1～9/27

9月21日は敬老の日。おばあちゃん、おじいちゃんがでてる本をあつめました。

一首、一句の向こうに

二つの会を取材して印象に残ったのは、作品そのものだけでなく、一首、一句を囲んで交わされる言葉でした。

氷川台歌話会では、どう感じたのかを大切にしながら、「もっと伝わる一首」にするために皆で考えます。万年青俳句会では作者を伏せた一句を読み、それぞれが思い浮かべた情景や心に残った理由を語り合います。

作品を通して、違う感じ方やものの見方に触れていくところは共通していました。そこから家族のこと、日々の暮らし、昔の記憶へと話が広がっていくこともあります。

一首、一句を通して互いを知る。短いことばには、その人が見たものや感じてきたことが広がっています。平和台図書館には、そんな穏やかで文化的な時間が流れていました。

9月のイベント

♠大人のイベント

バリアフリー映画会「じんじん」【空きあり】

9月5日(土) 14:00～16:30 定員:40名 場所:3F会議室
申込問合せ:電話・カウンター 協力:特定非営利活動法人 Bmap

50周年に相応しいのはこの本だ!あなたが決めるこの1冊【空きあり】

9月6日(日) 14:00～16:00 定員:30名 場所:3F会議室
申込問合せ:電話・カウンター 講師:下中美都氏(平凡社代表取締役会長) 菊池明郎氏(筑摩書房元社長,現柏書房取締役) 富澤凡子氏(柏書房代表取締役社長)

高齢者向けスマートフォン教室
正しい情報を見分ける力を付けましょう【抽選】

9月13日(日) 14:00～17:00 受付締切:9月5日(土)
場所:3F会議室 申込問合せ:電話・カウンター・図書館HP

平和台図書館50周年・春日町図書館30周年 合同企画
「SUN! SUN! GO! GO! わくわく本巡りスタンプラリー」

9月15日(火)～11月15日(日)
本を借りたり、クイズに答えてスタンプを集めよう!
詳しくはポスター・チラシをご覧ください。

♡こどものイベント

家族を守る 日々の防災 防災救急フェア(応急救護)【抽選】

9月12日(土) 10:00～11:00 定員:20組
受付締切:9月2日(水) 場所:3F会議室 講師:練馬消防署 署員
対象:小さなお子様をお持ちの保護者、または応急救護に興味のある方

平和台図書館50周年記念企画 スペシャルこうさく会 おりがみで花いっぱい

9月23日(水・祝) 13:00～17:00 定員:なし(出入り自由)
受付締切:当日受付(申込不要) 場所:3F会議室 対象:どなたでも
講師:折り紙インストラクター

♣青少年のイベント

自分でゆかたを着てみよう【女性限定】【抽選】

9月27日(日) 15:00～17:00 定員:15名
受付締切:9月17日(木) 場所:3F会議室
対象:中学生以上 講師:ハクビ京都きもの学院 池袋教室講師

令和8年9月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2 よみかせ	3 おひぎのうえのおはなし会	4	5 バリアフリー映画会
6 あなたが決めるこの1冊	7	8	9 よみかせ	10 ブックスタート	11	12 家族を守る日々の防災(応急救護)
13 ブックスタート スマートフォン教室	14 休館日	15	16 ベルではじまるおはなし会	17 おひぎのうえのおはなし会	18	19 ちょこっとよみかせ
20	21	22	23 スペシャルこうさく会	24 休館日 (祝日と重なるため変動)	25	26
27 よみかせ ゆかたを着てみよう	28 休館日	29	30 よみかせ			

平和台図書館

へいわだいだより

令和8年9月号 Vol.121

今月の特集

特別インタビュー

氷川台歌話会、万年青俳句会

開館50周年を記念して平和台図書館とともに歩んできた2つの文芸サークルにお話を伺いました。それぞれの歩みと想いをご紹介します。

令和8年(2026年)9月発行 練馬区立平和台図書館 電話 03-3931-9581
指定管理者 シタックス大新東ヒューマンサービス株式会社

図書館で、ことばを紡ぐ。

平和台図書館を拠点に活動する文芸サークル

短歌

氷川台歌話会 一首を囲み、互いの人生に触れる



長年にわたる活動、本当にお疲れさまでした。

氷川台歌話会は「新炎」を主宰した相野谷森次先生の短歌講座をきっかけに始まりました。講座終了後も、区民館や図書館を会場に、短歌を学ぶ時間を重ねてきました。

近年は毎月、二首を持ち寄り作品に込めた思いや、表現について皆で話し合っていました。取材をしていて興味深かったのが「人の歌をけなさない」という決め事です。上手・下手を競うことではなく、その人が何を見て、どう感じたのかを受け止めること。一人ひとりが詠み込めたことを大切にしながら、皆で一首をより伝わる形に整えてきたといいます。

題材は、日々の風景、家族、故郷、別れの記憶。短歌にすることで、心の中を表してきました。平和台図書館は短歌を通じて互いの人生に触れる場所であったと話します。このたび長年の活動に区切りをつけた氷川台歌話会。一首を囲み互いの思いに触れてきた。その積み重ねが、会の長い歩みを形作ってきました。

六人、それぞれの一首

塾帰りの児童か車内に眠りこむ疲れることをもう知るならん
文箱より友の手紙の出でくれば若き日の我がよみがえりくる
小手毬は雪と見まごう花をのせ暮れ行く庭に明るく揺れる
ひこ孫の初めて触る雪の日のちさき両の手みずみず紅し
紅葉を独り占めする縁側に静かさぬくとさ抜ける青空
ありがとう！感謝の言葉思いつつ「第九」を歌う今日のよろこび

陽子 京子 理栄子 雅子 信子 紀代

短いことばに、季節の移ろい、家族の記憶、日々の生活を映す。
平和台図書館を拠点に活動を重ねてきた二つの会があります。
秋には、1階ロビーで作品の展示を予定しています。
今回は会員の作品とともに活動を紹介します。

俳句

万年青俳句会 図書館とともに40年。句会をのぞいてみました。



万年青俳句会のあゆみ

万年青俳句会は、昭和61年（1986年）に平和台図書館で始まりました。それから40年。長い年月のなかでメンバーは少しずつ入れ替わりながら、現在も月に一度、図書館で句会を続けています。

～句会の流れ～



1 俳句を作って持ち寄る
毎月の兼題(テーマや季節)のことばをもとに、俳句を作って集まります。今月は、「生身魂」と「七夕」



2 作者を伏せて選ぶ
集まった句を一覧にし、誰の俳句が分からないまま一人五句を選びます。



3 感想を話し、作者を明かす
選んだ理由や思い浮かんだ情景を語り合い、最後に作者がわかります。

8月の特選
(最高点の作品)

眉描いて
微笑み返す
生身魂

※生身魂とは、お盆に元気に暮らす年長者を敬うことを表す季語

鏡の中の自分に微笑んでいるのでは？

誰かに眉を描いてもらった場面かもしれない

句を選んだ理由や、思い浮かべた情景を話していきます。実際には、高齢の女性が眉を整えてもらい、少し照れながら微笑んだ場面でした。受け取り方は人それぞれ。一句を皆で考察するのも句会の楽しさのひとつです。

新しい仲間を募集しています

万年青俳句会では、一緒に俳句を楽しむ仲間を募集しています。俳句が初めての方や、「句会ってどんなことをするの？」という方も歓迎です。まずは見学からでも大丈夫です。興味のある方は平和台図書館 職員までお声掛けください。

